

## 会 議 録

|        |  |
|--------|--|
| 会議の名称  | 平成 24 年度 第 3 回文化財審議会   |
| 開催日時   | 平成 25 年 2 月 28 日(木) 14 時 00 分～16 時 30 分  |
| 開催場所   | 難波田城資料館 講座室  |
| 出席者    | 水宮恒委員、横山亮栄委員、吉川節男委員、梅野俊明委員、<br>大久保善郎委員、塩入たま江委員、松本伸行委員<br>事務局 (加藤生涯学習副課長、堀主査)   |
| 欠席者    | なし   |
| 会議次第   | 1. 報告<br>(1) 郷土芸能「お囃子の祭典」について<br>(2) 平成 25 年度予算 — 文化財総合目録の作成について<br>(3) 水子貝塚公園復原住居の修理について<br>2. 協議<br>(1) 難波田城資料館における文化財の活用と課題<br>3. その他 |
| 会議資料   | ①難波田城資料館における文化財の保存   |
| 公開・非公開 | 公開 (傍聴人 0 人)   |
| 会議録確認  | 水宮委員   |

## 会議内容

あいさつ（議長）

### 1. 報告

#### (1) 郷土芸能「お囃子の祭典」について

事務局 平成 25 年 1 月 20 日（日）に郷土芸能 お囃子の祭典と称して、キラリ☆ふじみメインホールで開催。お囃子は、城の下組囃子連、石井囃子保存会が出演。来場者 233 名。

#### (2) 平成 25 年度予算 — 文化財総合目録の作成について

事務局 来年度より年度実施計画で「文化財目録作成事業」を行う。

事業期間は平成 25 年度～27 年度。文化財の指定の有無にかかわらず将来にわたって保存・継承すべき文化財を把握するとともに、地域活性化資源としての活用を図るための基礎資料を作成する。

#### (3) 水子貝塚公園復原住居の修理について

事務局 平成 25 年度、水子貝塚公園にある 5 棟の復原住居のうち、第 15 号復原住居を修理する。開園から 18 年を経て、劣化が進んでいるので、順次、修理していきたい。

### 2. 協議

#### (1) 難波田城資料館における文化財の活用と課題

難波田城資料館職員から、難波田城公園・資料館の事業や資料の保存・活用・課題について説明。

### 3. その他

#### ・文化財総合目録作成事業について詳細説明

事務局 近年、文化財保護法の改定や文化財の範囲が拡大され、社会情勢においては急激な変容や開発の増加により有形・無形の文化財が失われている現状がある。また、東日本大震災にも見られるように文化財は地域住民の心の拠り所となっていながら、目録化がされてないために何が残って何が失われたのかも不明という事態も起きている。これら地域資源である文化財を活かすため、現況調査・目録化は急務である。将来にわたって保存・継承すべき文化財を把握するとともに、活用を含めた文化財保護マスタープラン策定を視野にした基礎資料としたい。

この事業は市民との協働とし、文化財審議会・資料館友の会・市民学芸員・学識経験者等にも協力をお願いし、文化財総合目録作成委員会を設置する。改めて、連絡をするので協力をお願いする。

審議委員 一般的な文化財以外にも、核家族化が進んで古来からの伝統文化や食生活も失われている現状がある。こうした文化の保存・継承は残していくべきである。

審議委員 地域の文化財は市民にとって身近なだけに気づいていないケースもある。水子貝塚にしても国史跡のブランドをもっと PR すべきであるし、身近にある文化財の現状の把握をして活用していくべきである。

### 次回会議

次回の日程については、平成 25 年 6 月を目途に日程を調整する。



